

藤原総合文化会館跡地に関する市の考え方

- ・市の財政状況は非常に厳しい状況で、直営によるコストのかかる施設整備は困難である。(サウンディング調査で例を挙げれば駐車場や広場程度の整備しかできない。)
- ・とは言え、観光情報センター機能を含め、鬼怒川温泉の玄関口である駅前の賑わいの創出は必要不可欠である。
- ・民間との連携によれば、直営では不可能な施設整備の可能性が出てくるものと考えている。
- ・民間との対話も参考にしながら、民間活力の導入について可能性を探っていきたい。
- ・上記の考え方を踏まえ、地域からも歓迎される事業内容にしたい、望まない施設も含め、専門部会の皆さんからのご意見を伺いたい。